

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 1組～6組
 教科担当者：（1組：上杉）（2組：上杉）（3組：上杉）（4組：濱川）（5組：濱川）（6組：濱川）
 使用教科書：（「高等学校 言語文化」第一学習社）

教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもととしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		話	聞	書 読						
1 学 期	古文の学習 【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。	○	○		・今後の学習を通して、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚を持つようとしている。	○	○	○	4
	「呪のそら糺」 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。			○	・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。 ・時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている。	○	○	○	5
	定期考査Ⅰ					○	○			1
	「なよたけのかぐや姫」 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景やほかの作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化に対する理解を深めようとする姿勢を育てる。	・古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。 ・伝奇的作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古語辞典の引き方に慣れ、主として活用について、文語のきまりを理解する。	○	○	○	・初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。 ・用言の活用について理解し、学習の見通しをもって活用形を調べようとしている。	○	○	○	7
	「枕草子」 【知識及び技能】 ・言葉には文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解させる。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 論理的に考える力や、深く共感したり想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりする力ができるようになる。	・自由な文体の随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「九月ばかり」では課題に応じて調査する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的、文化的背景を理解する。 ・主として助動詞について、文語のきまりを理解する。	○	○		・「はしたなきもの」では時間の経過による言葉の変化について理解している。 ・学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。 ・作品に表れたもの見方や考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。	○	○	○	4
定期考査Ⅱ					○	○			1	

2 学 期	<p>【伊勢物語】 【知識及び技能】 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたって読書にした親しみ言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「東下り」では課題に応じて調査する。 ・「芥川」では絵画資料と、「東下り」では他の段落と、「筒井筒」では『大和物語』の同話と、それぞれ読み比べ、解釈を深める。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」と「筒井筒」の課題を踏まえて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として用言の活用について、文語のきまりを理解する。 	○	○	○	○	7
	<p>【万葉集】「古今和歌集」 【新古今和歌集】 【知識及び技能】 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持たせる。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたを理解し、黎明期の和歌の特色を捉える。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、情景や心情など、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質について理解する。 ・主として枕詞や序詞などの和歌の修辭について、文語のきまりを理解する。 	○	○	○	○	4
	<p>【言語活動】古典の和歌を現代の言葉で書き換える（飯万智） 【知識及び技能】 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌の修辭技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。 ・作品に表れている情景や心情を粘り強く読み取り、これまでの学習を生かして和歌を鑑賞しようとしている。 	○	○	○	○	2
	定期考査Ⅲ				○	○	1
	<p>漢文の学習 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解させる。 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 	○	○	○	○	5
	<p>【漁父之利】「狐借虎威」「蛇足」 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解させる。 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを学ぶ。 ・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 	○	○	○	○	7
	<p>夢十夜（夏目漱石） 【知識及び技能】 我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深められるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解くなどして、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・比喩や言い換えなどの修辭を理解する。 ・主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 	○	○	○	○	4
	定期考査Ⅳ				○	○	1

